

琉球大学学術リポジトリ

高血圧自然発症ラット(SHR)の大腿骨の強度に及ぼす すぎん茶及びウーロン茶の影響

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 川島, 由次, 大野, 公久, 松葉, 賢次, 本郷, 富士弥, 富塚, 圭, 稲福, 盛雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016787

高血圧自然発症ラット（SHR）の大腿骨の強度に及ぼす ぎん茶及びウーロン茶の影響

琉球大学農学部 ○川島 由次・大野, 公久・松葉 賢次・本郷 富二弥・富塚 圭
琉球開発飼料K. K. 稲福 盛雄

目 的

SHRにぎん茶及びウーロン茶を投与して大腿骨への影響について調査した。

方 法

SHRに水（対照区）、ぎん茶（ぎん茶区）、ウーロン茶（ウーロン茶区）を給与し、30週齢で屠殺後両大腿骨を採取して測定を行った。大腿骨は固定後、左大腿骨を組織学的に、右大腿骨を物理学的に検鏡、測定し3試験区間で比較検討した。

結 果

- 1) 自動葉面積計を用いた緻密質断面積では、3試験区間に大きな差はなかった。
- 2) 延性においてぎん茶区が他の2試験区に比べ1%レベルで有意に高値を示した。
- 3) 強度では、ぎん茶区が他の2試験区よりも高値を示したが、大きな差は見られなかった。
- 4) 剛性では、ウーロン茶区、対照区、ぎん茶区の順に高値を示した。前2試験区に比べ、ぎん茶区は顕著に低い値を示したが有意な差は見られなかった。
- 5) 耐性では、ぎん茶区が他の2試験区に比べ顕著に高い値を示した。ぎん茶区が5%レベルで有意に高値を示した。
- 6) 検鏡の結果、対照区、ウーロン茶区は軽度の骨粗鬆症の傾向が観察されたが、ぎん茶区にはPOROSIS（小孔）物理学的・物理組織学的検索の結果、ぎん茶区が最も優れた成績を示した。

今後、ぎん茶中のミネラル骨形成の関与について追求する必要性がある。